

決算報告

辰野町の財政を家計に例えてみると…

町の財政を家計に置き換えても矛盾する点もありますが、昨年引き続き平成20年度決算（76億円）を、年収600万円の家庭の「家計簿」に置きかえて整理してみました。

皆さんからの貴重な税金が、どのように使われたか知っていただくために、町では毎年財政状況の公表を行っています。今回、9月定例議会にて認定されました、平成20年度決算の概要をお知らせします。

収入

家族の収入

①給与	236万円
町税 / 町民税や固定資産税など	
②パート収入	36万円
施設の使用料や手数料など	
③親からの仕送り	261万円
地方交付税や国・県補助金など	
④家の改築のための借入金	37万円
道路・公共施設整備などのために国や金融機関から借りたお金	
⑤貯金の引き出し	13万円
基金の取り崩し	
⑥前年からの繰越金	17万円
合計	600万円
⑦貯蓄残高(基金の残高)	186万円
⑧借入金残高(町債の残高)	487万円

支出^{1年間}

Ⓐ日常生活費	301万円
食費・医療費・光熱水費など / 人件費、扶助費、物件費、補助費など	
Ⓑ車の整備代	1万円
道路や施設の機能を維持するための経費	
Ⓒ子どもへの仕送り	107万円
公共下水道、国民健康保険、病院など 他会計への繰出金	
Ⓓ借金の返済	76万円
過去に借りた町債の返済金	
Ⓔ家(車庫)の改築費	77万円
道路整備、施設の改修経費など	
Ⓕ親戚に貸したお金	3万円
商工業者への融資など	
Ⓖ貯金	13万円
基金に積み立てたお金	
合計	578万円
Ⓖ差引残高(形式収支)	22万円

生活費

昨年と同じ夫婦の会話から。家計簿を見ながら…



さて平成20年度の家計は前の年と比べてどうだったのかな？

そうですね。22万円の赤字で、前の年より5万円多く繰り越すことができたけどね。

そうすると、2年前とおなじだね。ところで、支出の内訳はどうなんだい。総額で578万円、その内生活費①〜③に409万円か。前の年より31万円増えているなあ。ガソリンや灯油、それから医療費が高くなったのが原因だな。二人の収入は①+②272万円か。少し増えた程度か。そうすると、また足りない分は借りたりしたのか。

うん。節約をしたけれど、今あなたが言ったように燃料費が増えたりしたいへんだったのよ。それで繰越金と貯金の取り崩しでなんとかしたかったんだけど、借金の返済④や急に車庫の改築⑤があつて、それだけじゃ足りなくて、親からの仕送りを受けたり、借金をしたのよ。これからは、親からの仕送りは難しいみたいだから、自分たちで何とかしたいといけなくなるわ。…国庫支出金など制度が

変わる可能性が高い

そうだな。車庫も雨漏りで急ぎよ改築したんだけど、これ以上大きな買い物は難しいな。ところで貯金は少しは増えたの。

前の年が179万円だったから7万円程ね。でも銀行などから借りたお金はだんだん減ってきているけれど、487万円⑥あるの。子どもの生活費（借金）に援助（仕送り）もしているしね。

そうだったな。これからどうやってやりくりしようか。収入を増やすにもなあ…。①、②

そうですね。会社の経営は昨年後半から苦しいようだし。給料を増やすことは難しくそつね。

うんそうなんだ。君のパートだって同じだろ。だから、今まで以上に工夫して支出を減らす手段をしないと。家の傷んでいるところは自分で直したり、車で出かけるにも割引が効く時間帯を選ぶとかね。

1. 経費の節約

◆家計でも日常生活費のうち電気や水道、あるいは食費なども支出の節約に心掛けていませんか。

◆町では電気・水道、燃料費及び人件費などの経常的経費削減に努めています。

2. お金の使い道

◆家計でも医療費や借金の返済など、節約できないものがあります。限られている中で、優先順位を付けて買物をしていませんか。

◆町では、事業効果の高いものから優先順位を付けて実施しています。（事業の選択と集中）また、住民の皆さんに協力をいただきながら、大きなお金をかけないで事業を行うなど協働のまちづくりにも力を入れています。

3. 収入が減るの？

◆景気が好転しない状況では、なかなか給料も増えず、家計のやりくりもたいへんですね。

◆町でも歳入総額の約39%を占める税金も平成21年度は大幅な減収になると予想しています。職員一丸となって、税を含めた自主財源の確保と節約に努めてまいります。

★地方債について

地方公共団体が、財政上必要とする資金を外部から調達することによって負担する債務で、その履行（返済）が数年から数十年に渡り行われるものです。住民負担の世代間の公平を調整する意味から、将来、便益を受けることとなる後世代の住民と現世代の住民が負担を分かつてことを可能としています。しかしながら、将来の負担が大きくなると、財政運営に多大な影響が出ることから、地方債（借入額）は返済額の6割以下に抑制し、地方債残高（借金を減らすことに努めています）

★普通会計

会計区分は全国の各地方公共団体によってその範囲が異なり、財政状況などの比較が困難なため、一定の基準で会計を区分しなおしたものを普通会計といいます。使用料や保険料で運営されるのが原則の上下水道事業や国民健康保険事業は普通会計には属しません。辰野町の場合は、一般会計に有線放送特別会計を加えた額が普通会計となります。

：町の財政と家計を単純に一緒にはできませんが、町の財政でも家計でも支出が増えることが分かれば、収入を増やすことや支出の見直しを行ったり、「借金（地方債残高）」を減らす努力が必要です。町全体の財政については別ページ等で確認してください。

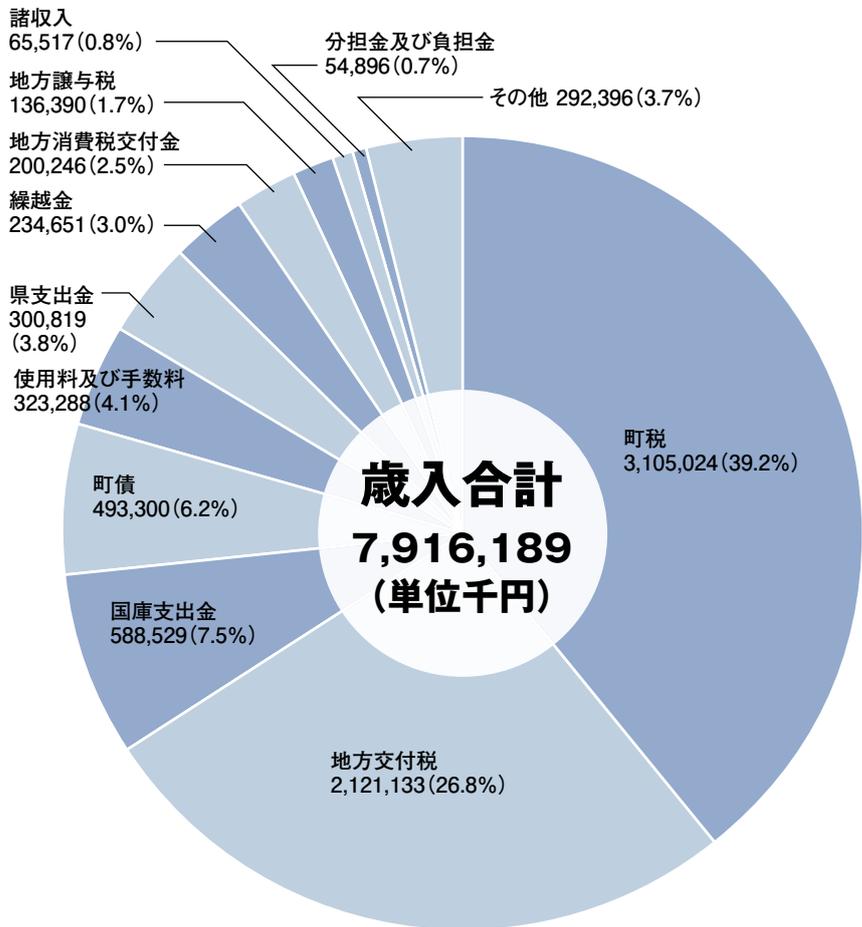
普通会計

実質収支で2億6,859万7千円の黒字となりました。(一般会計266,756,626円、有線放送特別会計1,840,532円)厳しい財政状況の中で、「協働のまちづくり」の推進とともに、事業の選択、経費の節減など町民のみなさんごご理解・協力の結果といえます。人件費、施設の維持経費を中心に削減を行い、次年度以降の財源確保のために本年は1億6,846万2千円を基金に積み立てました。

歳入

歳入決算額は79億1,618万9千円で前年度に比べ3億1,894万7千円、3.8%の減となりました。主な原因は、災害復旧に係る県補助金が減となったことによります。

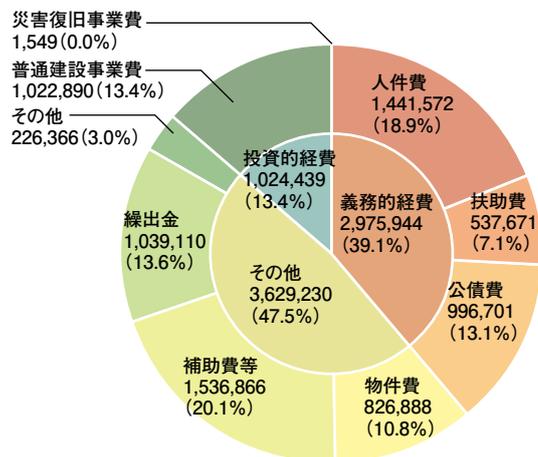
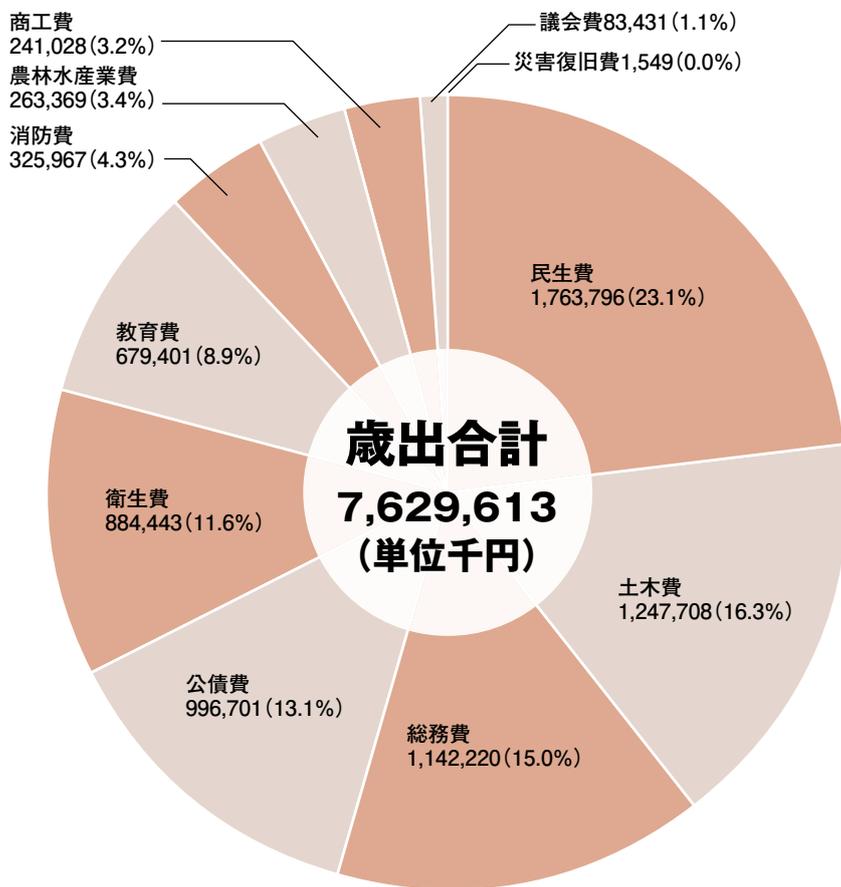
歳入その他は地方特例交付金、自動車取得税交付金、財産収入、寄付金、利子割交付金、繰入金、交通安全対策特別交付金、株式等譲渡所得割交付金、配当割交付金、国有提供施設交付金の合計です。



歳出

歳出決算額は76億2,961万3千円で前年度に比べ3億7,087万2千円、4.6%の減となりました。主な原因は、災害復旧事業費の大幅な減によるものです。主な事業は次のとおりです。

財政健全化判断比率は、暫定値でありますので確定値の段階で公表(12月広報)します。



●一般会計・特別会計及び企業会計の20年度決算金額 (単位:千円)

区分	歳入総額	歳出総額	繰越明許 ^{※2}	実質収支
一般会計※1	7,865,866	7,581,130	17,979	266,757
簡易水道	10,812	9,010		1,802
小野簡易水道	52,029	50,737		1,292
公共下水道	1,518,678	1,479,337		39,341
特定環境保全公共下水道	127,128	117,862		9,266
農業集落排水処理施設	96,127	91,688		4,439
国民健康保険	2,016,201	2,001,350		14,851
国保第一診療所	8,031	7,294		737
国保川島診療所	4,848	4,380		468
後期高齢者医療	198,334	195,243		3,091
老人保健医療	195,577	205,175		△9,598
介護老人保健施設	245,535	244,776		759
有線放送※1	73,404	71,564		1,840
介護保険	1,334,695	1,330,825		3,870
特別会計の計	5,881,399	5,809,241	0	72,158
上水道事業	366,484	363,783		2,701
町立辰野総合病院事業	1,703,356	1,865,303		△161,947
企業会計の計	2,069,840	2,229,086		△159,246

※1 一般会計と有線放送会計の合計が普通会計となりますが、有線放送会計から一般会計へ支出した5,830千円、訪問看護ステーション事業11,608千円及び後期高齢者医療広域連合事業5,643千円は除かれるため、普通会計の決算額と一致しません。

※2 繰越明許とは、何らかの事情により20年度内に支出が終わらなかった事業を翌年度に繰り越して使用する経費です。

◆基金
町が大きな事業を行うときは、単年度に多額な資金が必要となります。町民生活に支障を及ぼさないように大きな事業を行うための蓄えが基金です。平成20年度末29億4,098万4,015円となっており、前年比299万3,562円増です。

主な基金の積立状況 (普通会計)

名称	金額
財政調整基金	12億4,520万9,808円
減債基金	1億7,381万1,163円
地域福祉基金	2億6,700万0,000円
教育振興基金	1億90万4,868円
道路建設基金	1億1,595万6,000円
庁舎等建設基金	8,214万2,474円
土地開発基金	4億8,622万4,903円
その他の基金	4億6,973万4,799円

平成20年度 主な事業

総務費	広報発行事業	273万円
	旧川島児童館用地購入事業	525万円
	全国瞬時警報システム導入事業	4,993万円
	飯沼川・上野川浸水想定図作成事業	263万円
民生費	介護予防センター整備事業	1億327万円
	児童手当支給事業	1億6,361万円
	後期高齢者医療広域連合繰出金	1億9,081万円
	介護保険会計繰出金	1億8,635万円
	地域活動支援センター増築事業	2,095万円
	放課後児童健全育成(学童クラブ)事業	667万円
	医療費給付事業	7,517万円
	国民健康保険会計繰出金	7,642万円
衛生費	辰野総合病院会計繰出金	3億1,652万円
	両小野国保病院繰出金	7,639万円
	乳幼児等健診事業	623万円
	ごみ処理事業	1億9,062万円
農林水産業費	し尿処理事業	4,340万円
	土地改良事業	914万円
	地籍調査事業	1,256万円
	かやぶきの館指定管理事業	2,000万円
	かやぶきの館改修事業	1,509万円
	中山間地域直接支払交付金事業	1,290万円
	有害鳥獣対策事業	328万円
しだれ栗森林公園指定管理事業	445万円	

商工費	商工業誘致及び振興補助金	1億5,097万円
	商工会等補助金	1,360万円
	ほたる童謡公園安全防護柵設置事業	846万円
	ほたる祭り負担金	300万円
土木費	新町後山地区土地取得費	2億7,300万円
	城前橋改築事業	929万円
	道路改良事業(8路線)	1,486万円
	道路舗装事業(10路線)	927万円
	上野辺地整備事業	1,592万円
	下水道会計繰り出し金	4億5,167万円
消防費	平出団地建設事業	2億7,073万円
	伊那消防組合負担金	2億4,524万円
	消防施設整備事業	1,685万円
教育費	消防団交付金	1,400万円
	スクールバス運行委託事業	371万円
	小中学校耐震二次診断事業	1,722万円
	小中学校改修事業	658万円
	英語指導助手招致事業(ALT)	455万円
	図書館管理運営事業	1,535万円
	美術館管理運営事業	603万円
埋蔵文化財発掘事業	1,330万円	